

取組の背景・目的

森林・地域・現代社会・リサイクル・経済学教育における諸問題を北海道森林資源であるアカエゾマツおよびハマナスを活用して総合的な解決を模索します。上述の4分野には、経済学的な視点から次のような課題が散見されます。

- (1) 森林…有効活用されていない諸資源が存在、人手を加えることによる森林資源の持続性の確保
- (2) 地域…独自性の創出が課題であり、地場産品の開発は地域活性化に貢献する
- (3) 現在社会…ストレスフルな生活、身近にストレス解消できる場を構築する必要
- (4) リサイクル…廃材を活用した製品開発はマイナスをプラスに変える、SDGsにも貢献
- (5) 経済学…近年、机上の学問とされ社会との接点が少ないことが問題視

本取組はこれら課題を繋ぎ、発展的に解決させることを目的にしました。森林の現状を知り・都会の人に伝え、森林内の廃材を活用した独自製品（ストレス解消に貢献）を開発し、その開発品を経済分析することにより、売り上げ向上を目指します。本製品の売り上げが向上することは(1)～(5)の解決により近づくことを意味します。

取組の内容・成果

北海道の森林資源のうちアカエゾマツとハマナスを抽出し、実際に製品開発を試みました。

【アカエゾマツ製品の開発】

アカエゾマツは木材の利活用は進んでいませんが、アイヌ民族から「女神の木」「薬になる木」と称される伝統と歴史のある樹木です。精油成分には高い抗菌性を含み、香りには人や動物をリラックスさせる作用が証明されています。

製品（アカエゾマツ・アロマディッシュ）開発と販売までのフロー

- ・弟子屈町の森林現地にてアカエゾマツ（径級12cm）を伐採
- ・北村林業（株）の協力のもと厚さ15cm程度の輪状にして水中乾燥
- ・水中乾燥させたアカエゾマツにコーティングを施し、精油を入れる皿部分を彫刻
- ・完成品にアカエゾマツ精油を垂らし2022年12月のエコプロ2022（東京ビッグサイト）に出展
- ・出展の際にアンケート調査を実施し、製品需要と課題を考察（需要曲線と価格弾力性を導出）
- ・2022年12月開催の第8回アカエゾマツサミット（一社Pine Grace）にて製品と分析結果を紹介
- ・弟子屈町川湯ビジターセンターにて販売決定（1500円/個）

【ハマナス製品の開発】

ハマナスは浦幌町の花に指定されており、現在、大量栽培が進められています。また、現地のベンチャー企業である（株）チオカイがハマナス石鹸（抗菌作用、ストレス解消効果あり）を販売しています。

製品（ハマナス石鹸置き）の開発と戦略のフロー

- ・ハマナス石鹸と組み合わせる形で石鹸置きを開発するアイデア（石鹸置きはハマナスの廃材から製作）
- ・石鹸置きのデザインは浦幌町地域おこし協力隊と連携して制作（北村林業（株）の協力）
- ・2022年12月のエコプロ2022（東京ビッグサイト）にて出展
- ・出展の際にアンケート調査を実施し、製品需要と課題を考察（需要曲線と価格弾力性を導出）
- ・（今後）製品コンセプトと分析結果を共有し、浦幌町「道の駅」にて販売依頼

今後の展開

新製品の開発や新規需要の創出は様々な課題を発展的に解消する過程に起こると考えています。本取組はアロマディッシュの開発、石鹸置きの開発という小さな挑戦です。しかし、この開発には多くの人に関わり、その知見を共有しています。このような小さな挑戦の積み重ねが様々な社会課題を解決していくと考えています。



多様な関係者との交流